

第4学年 道徳学習指導案

平成24年6月19日(火) 第5校時
在籍児童数 27名

- 1 主題名 勇気を出せるわたしになろう 1－(3) 勇気
【関連内容項目 2－(3) 友情・信頼】
- 2 資料名 「ハートがたのガム」(出典 彩の国のどうとく「みんななかよし」埼玉県教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学年の内容項目1－(3)「正しいと判断したことは、勇気をもって行う。」は、低学年1－(3)「よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。」という内容項目を受け、高学年の1－(2)「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」 中学校1－(2)「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。」という項目へと発展していく。

学習指導要領解説によると、「この段階においては、児童は認識能力を高め、正しいことや正しくないことについての判断力も高まってくる。しかし、正しいことと知りつつもそのことをなかなか実行できなかったり、悪いことと知りつつも回りに流されたり、自分の弱さに負けたりしてしまう時期でもある。そこで、正しいことを行えないときの後ろめたさや後悔の念と、勇気を発揮したときの自信と誇りについて考えることなどを通して、正しいと判断したことは勇気をもって行い、正しくないとは判断したことは勇気をもってやめる態度を育てる必要がある。」とある。

「勇気」とは、正しいと思うことに対して自信を持って行動に移し、不正に対しては断じて行わないことである。しかし、人間は弱く、正しいと分かっているにもかかわらず利害や欲望に負けて理想とする判断とは別の行為をしてしまうことがある。そこで、勇気をもって行動することが大きな力となり、人々の幸せな生活につながっていくことに気づかせ、さまざまな場面で勇気を持って進んで行動しようとする意欲をもたせたいと思い、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

4年生になると、客観的な認識力も身につけてきて、正しいことや正しくないことについての判断力も少しずつ高まってきている。そこで、児童が考える「勇気」について次のようなアンケートをとった。
(平成24年5月29日実施 調査数27名)

1 「勇気を出してよかったなあ。」と思うことはありますか。

- ・お年寄りに席をゆずった。
- ・テストで悪い点を取ったときでも、家に人にちゃんと見せた。
- ・掃除の時、ふざけている友達に注意をした。
- ・友達のけんかを「やめなよ。」ととめることができた。
- ・苦手な発表のときでも、思い切って発表をすることができた。
- ・いけないことをしている友達や上級生に「だめだよ。」と注意した。

2 上のような「勇気」を出した時、どんな気持ちになりましたか。

- ・励ましの言葉を言ってもらえて嬉しかった。
- ・とても気持ちよかった。
- ・相手がやめてくれたので、言ってよかったと思った。
- ・嬉しそうな相手の顔を見て、自分も嬉しくなった。
- ・思っていたことを自分の言葉で言えて、心がわくわくした。
- ・はじめはドキドキしたけど、正しいことを言えてスッキリした。

3 「本当の勇気がある人」とはどんな人のことをいうと思いますか？

- ・電車やバスで知り合いではないお年寄りへも、席をゆずってあげられる人
- ・困っている人がいたら、知らない人でも助けてあげる人
- ・友達が悪いことをしていても、いっしょに悪いことをしない人
- ・友達を傷つけている人に「やめなよ。」と言える人
- ・自分の言いたいことを自信を持ってはっきり言える人
- ・悪いことをした時、おこられると分かっているでも自分で正直に本当のことが言える人
- ・上級生でも、いけないことはいけないと言える人
- ・仲良しの友達でもいけないことをしているのを見たら、ちゃんと注意できる人

アンケートの結果を見ると、児童は、「勇気」について幅広く捉え、日常生活の中で良いことをする際にも「勇気が必要」と考える場面も多いようである。しかし、難しいながらもその「勇気」を実行した後は、「気持ちがスッキリする。」など自分自身の心が向上し豊かになることをしっかり認識している。さらに「本当の勇気」については、深い内容のものもあるが、実際に行うということが、児童にとってすんなりとは行動できないという実態もあると感じる。

本学級の児童は、正しくないことをしている友達に、自分の言いたいことは、はっきり言うことのできる子もいる。しかし、いけないと分かっているでも回りの友達との関係に影響されてしまう場面も実際に見うけられる。そこで、友達関係が大切になるこの時期に、「勇気」について自分の行動を振り返り、真剣に考え、正しいと判断したことは勇気をもって行い、正しくないと判断したことは勇気をもってやめるという心情を育てていきたい。

(3) 資料について

本資料は、主人公「かずみ」が、親友「あき」から、学校の休み時間に「二人だけの秘密だよ。」とハートの形をしたガムを手渡されるところから始まる。「かずみ」は迷いながらも、「一つだけなら。」と受け取ってしまうが、その後、見つかったらどうしようという思いから誰とも目を合わすこともできず、心の中は後悔でいっぱいになる。家に帰り、お母さんに今日のできごとを話す「かずみ」が、「どうすればよかったのかな。」というお母さんの言葉に自分の行動を考えるという内容である。

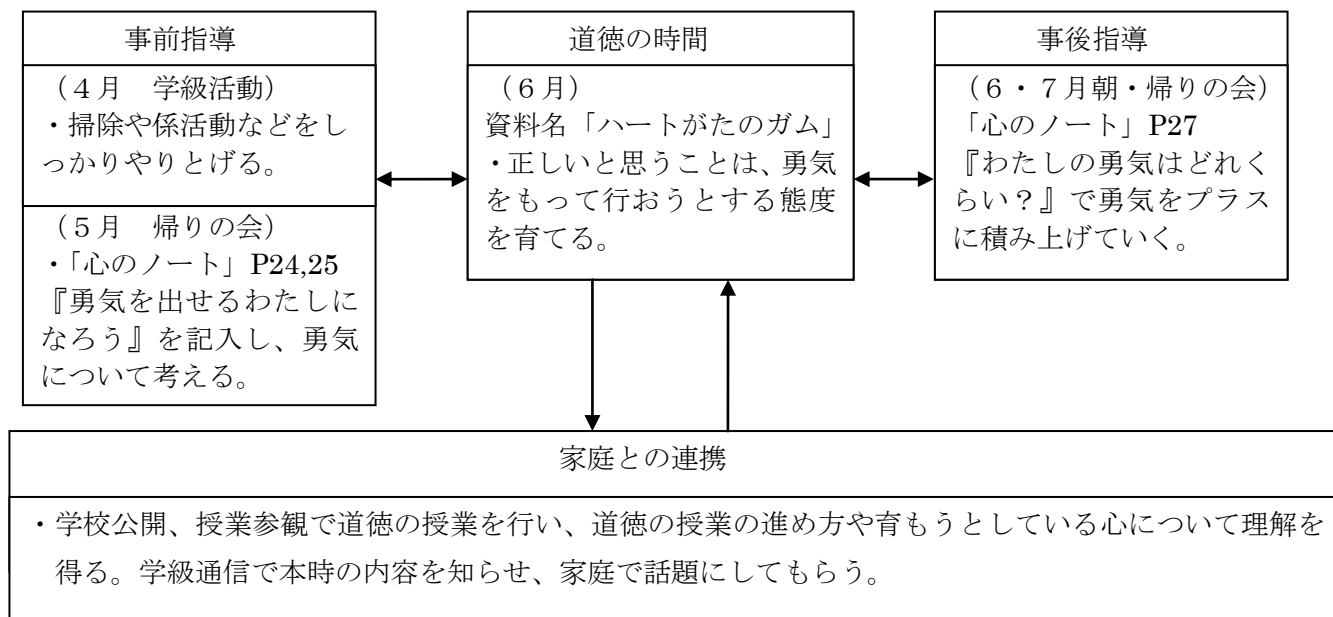
まず、親友の「あき」からガムを渡された「かずみ」が、いけないことだと知りつつも誘いを断れず軽い気持ちで受け取ってしまったときの気持ちに共感させ、その後の「かずみ」の後ろめたさや後悔を十分に考えさせたい。また、人は誰でも「かずみ」のように正しいと分かっているでもなかなか実行できなかったり、悪いと知りつつも回りに流されてしまったりと、自分の心に負けてしまうときが

ある。してはいけないことをした自責の念にかられたとき、母親の一言でじっくりと自分を見つめ直す「かずみ」の生き方を通して、勇気を出して正しく行動することの大切さを考えさせたい。

4 ねらい

正しいと思うことは、勇気をもって行おうとする態度を育てる。

5 他の教育活動との関連



6 学習指導過程

段階	学 習 活 動 (主な発問)	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の観点	資料 時間
導 入	1 「勇気」についてのアンケート結果を見て、自分の生活を思い起こす。		・アンケートの結果を見せ、「勇気」についての課題意識を持たせる。 ・本時のねらいの価値への関心が高まるようにさせる。	ア ン ケ ー ト 結 果 3分
展 開	2 本時の学習について知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 条件・情況 主人公 かずみ 相方 親友のあき ・かずみとあきは親友同士。学校の休み時間に一輪車に乗っていつものように遊んでいたとき、あきが周りを気にしながらも、得意気にハートの形のガムを差し出した。 </div>			場 面 絵 キ ー ワ ー ド
開	3 話題の整理と確認をする。		・内容を理解しながら、範読(判読)を聞かせる。	

展			<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで話し合いたいところにラインを引き、発表し、話合いの柱を整理させる。 ・線が引けない子には友達の意見を聞き参考にさせ、線が引けた子、発表できた子は進んで考えられたことをみんなで認める。 	6分
開	<p>4 話題をもとに話合いをする。</p> <p>(1) あきからガムをわたされたかずみは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小グループでの話合いの後)では、考えたことを発表しましょう。 <p>(2) 授業中、むねがドキン、ドキンとしているかずみは、どんなことを考えているのでしょうか。</p> <p>(3) 手のひらのガムを見つめながら、かずみはどんなことを考えていたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしよう。でも1個だけなら大丈夫かな。 ・いけないことだけど、あきも持ってるし、いいかな。 ・すごくきれいですてき。 ・親友のあきがくれたんだもの。もらわなくちゃ。 ・受け取らなかったらよかった。 ・でも親友のあきだし・・・ ・だけど、見つかったらどうしよう。 ・どうして受け取ってしまったんだろう。 ・たとえ親友の言葉でも、勇気をもって断るべきだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループによる話合いを取り入れ、友達の考えを聞きながら自分にはない考え方や感じ方を知り、自分の考えを深めさせたい。 ・全体の中ではなかなか進んで発表できない子にも、小グループの中で自分の考えを言うことができるよう話し合わせる。 ・「1つだけならいいだろう。」とポケットにしまう軽い気持ちのかずみに共感させたい。 ・自分の考えがまとまらない子については、友達の意見を参考にするよう助言する。 ・心臓が今にも飛び出しそうなくらいいけないことをやってしまったといううしろめたさを感じるかずみの気持ちをしっかり掴ませたい。 ・たとえ親友でもいけないことはいけないと勇気を持って言おうと 	28分

	5 今までの自分を振り返る。	<p>ったんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> いけないことは友達でもいけないとちゃんとやわなくちゃ。 自分の生活を振り返り、いけないと思ったことを勇気を出してやらなかったことについて書く。 	<p>考えはじめたかずみの気持ちをとらえさせる。</p> <p>☆正しいことは勇気を持って行い、正しくないことは勇気をもってやめようという心の大切さに気付くことができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を振り返り、勇気の大切さについてプリントに書かせる。 書く活動を通して自分の生活を見つめ直し、勇気の大切さに気付かせる。 <p>☆これまでの自分の生活について振り返ることができたか。</p>	ワークシート 5分
終末	6 教師の説話を聞く。 ・先生のお話を聞きましょう。		・正しいと思うことは勇気を持って行おうとする意欲を高める。	3分

7 評価の観点

- 人間には弱い気持ちがあるが、正しいことは勇気をもって行おうという気持ちを持つことができたか。
(発言・観察・ワークシート)
- 正しいことは勇気を持って行うことの大切さに気づける発問の組み立てになっていたか。
(発言・観察)

8 板書計画

The board plan consists of four drawings (絵) arranged from left to right, connected by arrows. Each drawing is accompanied by text boxes containing student reflections and teacher observations.

- 絵 1:**
 - Text box: 本当の勇気をもとう
 - Text box: いけないことはいけないと言わなくちゃ。親友でも、勇気をもって断らなくちゃ。
- 絵 2:**
 - Text box: 受け取らなかったらよかった。でも、親友のあきがくれたし。だけど、見つかったらどうしよう。どうして受け取ってしまったんだろう。
 - Text box: 授業中のかずみ
- 絵 3:**
 - Text box: 心ぞうが飛び出しそう。授業中も先生や友だちと目を合わせるができない
 - Text box: ガムをポケットにしまう
- 絵 4:**
 - Text box: ハートがたのガム
 - Text box: かずみ
 - Text box: 親友のあき
 - Text box: 二人は親友。一緒に一輪車で遊んでいた時、あきがハートがたのガムを出した。

Additional text boxes and notes:

- Text box: どうすればよかったのかな。
- Text box: 手のひらのガムを見つめながら
- Text box: あきからガムをわたされた
- Text box: 一つぐらいいいじゃない。二人だけのひみつだよ。
- Text box: 1こだけなら大丈夫かな。
- Text box: すごくおいしそうできれいなガムだ。
- Text box: 親友のあきからもらったし。
- Text box: いけないことだけど、あきも持っているしいいかな。